

東京藝大教授
留学生・研究員を迎えて

白鷹町 里山再生 シンポジウム

日時：2015年10月3日(土) 13:30開演

会場：白鷹町文化交流センター あゆーむ(ホール)

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地

主催：白鷹町里山再生シンポジウム実行委員会 問合せ：白鷹町文化交流センター TEL.0238-85-9071

入場無料
申し込み不要

講演Ⅰ

13:45～(40分)

「白鷹町における奥山の資源と 里山の未来」

講師：吉田博之

(白鷹町森林再生・木材コーディネーター、一級建築士)



平成22年に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」により、全国的に森林資源の活用の取り組みが行われている。その前線に位置する里山の再生の可能性を考える。

講演Ⅱ

14:30～(40分)

「伝統文化が創る未来」

講師：三田村有純

(東京藝術大学学長特命、美術学部教授)



漆の未来も里山の再生がカギ。国宝や重文の文化財修復は国産漆でと、文化庁が方針を打ち出したように、国産漆の現状と未来を里山再生と絡めて探る。併せて、和紙・陶芸・木工などの連携を考える。

シンポジウム

15:15～(60分)

「海外が見る里山の魅力」——観光と輸出産業再生のために

海外留学生を加えたグローバルな視点から日本の里山、白鷹の風土を見つめ直し、里山再生、観光資源再発見、輸出産業再生などの観点から、里山の持つ潜在能力を開花させる方策を探る。

コーディネーター

三田村有純

東京藝術大学学長特命・美術学部教授。現代漆芸の第一人者、江戸蒔絵赤塚派第10代継承
2013年日本現代工芸美術展「総理大臣賞」受賞、2014年改組第1回日展「会員賞」受賞、その他、海外展にて受賞多数

パネリスト

東京藝術大学 留学生・研究員、白鷹町代表

方兆華

(中国) 客員研究員 中国民族大学専任講師

ティエウ・カイン・ティエン

(ベトナム) 博士課程2年 国立ベトナム芸術大学専任講師

ヴァン・ゴンペル・デイヴ

(オランダ) 博士課程1年 アムステルダム国立博物館修復研究員

吉田博之

(白鷹町) 山形工科短期大学校 居住システム系住環境科特任教授

三田村有純 第30回記念個展

■ 黄金創記——金と漆が創る世界

現代漆芸の第一人者にして江戸蒔絵赤塚派第十代を継承する作家の、20代初期作品から最近作まで、代表作品約50点で制作を回顧。併せて江戸蒔絵赤塚派の系譜をたどる明治・大正・昭和の名品も展示し、三田村一族の漆芸を総体的に展示。

会場：白鷹町文化交流センター あゆーむ(ギャラリー)

観覧料：一般個人300円、高校生以下無料

ふるさとの造型作家

■ 青木邦明個展——呼吸する造型たち

日本現代工芸美術展「蓮田修吾郎賞」受賞作家によるふるさとの自然の中で展開する現代造型の数々。

会場：白鷹町文化交流センター あゆーむ(交流広場)

観覧料：無料

同時開催